



まちの話題

和水町消防操法大会 ～ポンプ操作の早さと正確さを競う～

第五分団が二連覇達成

6月22日(日)午前8時30分から、和水町総合グラウンド駐車場において、第2回和水町消防操法大会が開催されました。

あいにくの雨のなかの大会となりましたが、高岡団長率いる413名の消防団員の参加のもと、七分団16チームで消防操法の技を競い合いました。

競技結果については、次のとおりです。

- ◆優勝 第五分団Bチーム(緑小学校区)
- ◆準優勝 第一分団Aチーム(菊水中央小学校区)
- ◆三位 第二分団Aチーム(菊水南小学校区)

町営住宅から暴力団を排除します

協力協定調印式

和水町は南関町と合同で「暴力団員による町営住宅の使用制限に関する協定書」調印式を行いました。

調印式は7月4日、南関町において行われ、南関町長、和水町長、玉名警察署長が調印者として、協定書に署名、押印し、最後に握手をして今後の協力を約束しました。

これにより、今後の町営住宅入居希望者や同居申請者等について、玉名警察署より情報提供を受けることができるようになります。暴力団であるか否か照会をし、暴力団であると確認された場合、入居資格が認められず、書類審査の段階で排除することが可能です。

今後、町営住宅入居者及び周辺住民の生活の安全と平穏の確保はもとより、すべての町民が安全で安心して暮らすことができるようなまちづくりを進めます。



▲南関町長 ▲玉名警察署長 ▲坂梨町長

ふるさと食の名人をたたえて



荒木佳詞子さん(山十町)が、くまもとふるさと食の名人として県から感謝状を頂かれました。

これは、各地域で郷土の伝統料理等について、すぐれた知識、経験、技術等を有し伝承活動等に取り組んでいる人を県が認定しているもので、地域等で食文化発信の拠点とし、平成15年度から4年間、ふるさと食の普及啓発活動を続けられました。

伝承の食は、もろみ、べろだご、梅エキスです。もろみの材料である大豆は自宅で作られており、月に1回、十町夢ランド(地域づくり)で、だんご汁、べろだご等の料理を作り、地域の方に大変喜ばれているそうです。これからも「郷土料理を子どもたちに伝えていきたい。」と話されていました。おめでとうございます。



6月28日(土)から3日間、町緑彩館で「茅の輪くぐり」が行われました。

無病息災

町緑彩館「茅の輪くぐり」

これは、今年で4回目になりますが和町緑彩館出荷協議会が地域活性化につなげようと実施しているものです。

「茅の輪くぐり」は、6月の晦日に夏を越すために行われ、茅で作った大きな輪をくぐることで、福を招き、災いを除けるといわれています。『水無月の夏越の祓いをする人は千歳の命延ぶというなり』という古歌を唱えつつ、左回り・右回り・左回りと八の字を書くように三度くぐりぬけると、心身ともに清らかになるといわれています。

期間中は「ミニ茅の輪」も600個用意され「お守り」として無料で配られていました。

1日お父さん

6月23日(月)、神尾保育園で「1日お父さん」と題しての交流会がありました。これは、こどもと触れ合う中で子育ての大変さ・大切さを理解してもらい、一緒に楽しい時間を過ごすことを目的に毎年行われているものです。当日は、坂梨町長など3人のお父さんが園児達と一緒に踊ったり、紙芝居を読み聞かせてあげるなどして、楽しい時間を過ごしました。最初は緊張して恥がしがっていた園児達も、後からは新しいお父さん達と終始笑顔で楽しい1日を過ごしていました。



和水町から18種目に参加

第63回玉名郡民体育祭【球技・格技・水泳】

7月13日(日)、玉名郡内各会場にて第63回玉名郡民体育祭【球技・格技・水泳】が行われ、和水町からも町代表選手が18種目に参加。屋内外の暑い気温の中、優勝を目指し熱戦が繰り広げられました。水泳、バドミントン、ボウリング、バスケットボール男子で団体優勝を果たし、ほか種目でも好成績がありました。

今年の熊本県民体育祭は玉名郡市が会場となり地元開催となるため、町・郡代表として参加される選手の皆様の活躍を期待します。

